令和７年度

パピーナ荻窪天沼保育園　　すくわくプログラム

テーマ：　　かたち

テーマを設定する

具体的なものや身近な事柄を通して生活の中で感じ取ったものを活かす必要があるため、「かたち」をテーマにして様々な形の概念や表現を理解し深めることに期待する。

活動　　大きさの比較と形の構成

大きさの違いに気づき、「大きい」「小さい」の言葉の理解を深める

環境をデザインする

●準備した物　　タングラムパズル、タスクブック

活動スケジュール

４歳児クラス

日にち	令和7年4月15日
時　間	30　分
参加人数	20　人

探究活動を実践する

●活動内容

事物を見て「大きい」「小さい」の比較をする

名前と形を考える

自由な発想で形作りをする

●子どもたちの様子

３つの丸を見せて「どれが大きい？どれが小さい？」と問うと、「大きい！」「中くらい」「小さい」と、しっかりと言葉にしていた。「この大きい青い丸を、小さい黄色の丸にのせたらどうなるかな？」と問いかけると、「見えない」「なくなる」「混ざる」とたくさんの声があがった。さらに「なんでそう思うの？」と問うと、「隠すから」「大きいから」と、理由も言葉で伝えてくれた。タングラムでは、「先生！この四角は三角２枚でできるよ」と発見したことを教えてくれる姿があり、目を輝かせながら話す子の姿も見られた。

●振り返りをふまえた気づき

担任より

大きさに対しての概念がしっかり頭の中にある児と、まだあやふやな感覚を持っている児とで個人差があった。タングラムに取り組む中で実際に自分の手元で大きさの違う三角を複数並べる事で自ら気付き、大きい小さい中くらいを感じる事が出来たように思う。その後友だちや保育者と背を比べながら「大きい」「小さい」「中くらい」という話をしたりするなど、生活の中でも物の大きさについて考えるきっかけとなったようだった。

講師より

形や大きさの違いに注目しながら比べたり、言葉で伝えようとする姿が見られた。実際に重ねて確かめる中で、「隠れる」「なくなる」といった気づきが広がり、かたちを楽しみながら理解を深めていた。こうした気づきは、形の理解ににもつながっていきそうだ。

令和７年度

パピーナ荻窪天沼保育園　　すくわくプログラム

テーマ：　　かず

テーマを設定する

数に対する興味関心を育み、基本的な数の概念を理解し、具体的な事物と数を対応させ、数への理解を深めることに期待する。

活動　　数唱

数の変化を楽しみながら、数への興味関心を高める

活動スケジュール

５歳児クラス

日にち	令和7年4月15日
時　間	45　分
参加人数	23　人

環境をデザインする

●準備した物　　タイル

探究活動を実践する

●活動内容

物の数を数えてみる

数のゲームを楽しむ

●子どもたちの様子

「1から10まで数えてみよう！」と声をかけると、元気いっぱいに数える姿がみられた。「口で言う以外に数える方法ってあるかな？」と問いかけると、「足で」「頭で」「英語で」「手で数える」など、さまざまなアイデアが出てきた。「今度は心の中で数えながら手を叩いて、10で止まれるかな？」では、何度か練習した後に挑戦すると、ぴたりと止まれた子もいれば、少し早く止まってしまう子もいた。手を叩いた回数や絵を見て、指サインで数えたりしながら、数に親しむ姿が見られた。

●振り返りをふまえた気づき

担任より

子どもたちは心の中で数えてみる方法を初めて知った子が多かった様子だった。友だちが答える際に普段なら教えてあげようとする姿があったが、心の中で言っているような姿が見られた。それをきっかけに普段の保育の中でも「心の中で答える」と取り入れている。また物の数え方を「１本、１枚、１匹」と教えてもらうことで新たな知識となっているようだった。答えられる子が少なく、全ての物が「１個、２個…」という数え方の子が多かった。今後もクラスでクイズに取り入れたり、保育者が積極的に正しい数え方を知らせていくことも大切だと感じた。

講師より

数を数えることに楽しさを感じながら、口だけでなく指サインや心の中で数えるなど、さまざまな方法で数に親しむ姿が見られた。考えを伝えようとする意欲も見られ、こうした気づきが数への関心につながっていると感じる。